

6. 教育上の目的に応じ、学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

(各学科、コースの履修モデル及び主要科目の特長・到達目標)

①人間コミュニティ学科（仏教コース／司書・情報コース／映像・放送コース）

【仏教コース履修モデル】（1年前期の場合）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時	真宗入門		心理学概論	ビジネス実務総論	真宗学概論Ⅰ
2校時	日本語表現法	日本文学史	映画理論	パソコン基礎演習Ⅰ	コミュニケーション論
3校時	報恩講座 宗教コミュニティ実習		基礎演習Ⅰ	書道	
4校時	真宗史		勤式作法Ⅰ	真宗の経典Ⅰ	ソーシャルマナー
5校時	現代社会と経済	韓国の言葉と文化	仏教カウンセリング	仏教の思想Ⅰ	

○主要科目の特長・到達目標

主要科目	特長	到達目標
真宗学概論Ⅰ	親鸞聖人が明らかにされた浄土真宗の内容を体系的に学びます。どのようにしてこの教えが形成されていったのか、またその背景にあるものは何か、特に所依の経典である、浄土三部経を中心にみていきます。	専門用語に慣れるとともに、真宗を学ぶ基礎ができるようになります。
真宗の経典Ⅰ	真宗の聖教の中でなじみの深い「正信偈」を読み解くことを通して、親鸞聖人が明らかにされた仏教を学びます。	基本的な仏教用語と浄土真宗の綱格について把握します。また、仏教における「聖典」の位置づけを理解し今後の学習の姿勢を身につけます。
宗教コミュニティ実習	寺院の法要、法座の実際の終始を学び、多岐にわたる寺院活動の一端に触れるとともに、自ら僧侶としての聞法の姿勢を培っていきます。	寺院活動における実践力を身につけます。
勤式作法Ⅰ	現代の声明法は難解ですが、得度習礼および教師教修に必要な勤式作法の基礎的学習を中心に学びます。	正信念仏偈（草譜・行譜）を正しく暗唱できるようになります。

【司書・情報コース履修モデル】（1年前期の場合）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時	真宗入門	撮影基礎	英米の言葉と文化	ビジネス実務総論	
2校時	日本語表現法	日本文学史	図書館情報資源概論	パソコン基礎演習Ⅰ	コミュニケーション論
3校時	報恩講座 キャリアデザイン		基礎演習Ⅰ	書道	図書館サービス概論
4校時	ビジネス実務演習Ⅰ		図書館概論	簿記・会計Ⅰ	ソーシャルマナー
5校時	現代社会と経済		文書処理演習		

○主要科目の特長・到達目標

主要科目	特長	到達目標
図書館概論	社会教育の中核となる図書館の理念と成り立ち、図書館の自由、法規や行政について等、図書館に関する基本事項を学習します。	知的関心の対象として基礎知識を身につけると同時に、発展のためにどのような工夫が必要かを主体的に考える力をつけます。
学校教育概論	学校教育の意義と目標、教育課程や学習指導要領、児童生徒の心身の発達及び学習の過程、特別の支援を必要とする児童生徒に対する理解等を学習します。	①学校教育の意義と目標、②教育行政と学校教育、③教育課程の意義と学習指導要領、④学校教育と教科書、⑤児童生徒の心身の発達及び学習の過程、⑥特別の支援を必要とする児童生徒、等の学校教育の諸課題を概括的に理解します。
児童サービス論 (2年)	子どもが本と出会う過程で児童図書館員の果たす役割はきわめて大きく、その後の読書とも大きく関わってきます。絵本からヤングアダルト図書までの目配りと、読書への導入の技術を確認かなものにしていきます。	相手に応じたブックリストの作成の理論を理解し、実践できる力をつけます。ブックトークや読み聞かせ・読み語りの理論を理解し、実践する力をつけます。
ビジネス実務演習Ⅰ	どのオフィスでも基本となる実務や心構え・マナーについて演習します。コンピュータ利用による実務処理も含まれます。	業務マネジメント(PDCA)について理解します。仕事の基礎となる心構えやマナーを理解し、実践力をつけます。演習で学んだ知識や実践を通して、応用力をつけます。

【映像・放送コース履修モデル】（1年前期の場合）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時	真宗入門	撮影基礎	英米の言葉と文化	ビジネス実務総論	放送とアナウンスⅠ
2校時	日本語表現法	日本文学史	映画理論	パソコン基礎演習Ⅰ	コミュニケーション論
3校時	報恩講座 キャリアデザイン	映像・放送実習Ⅰ	基礎演習Ⅰ	書道	映像企画・構成基礎
4校時	ビジネス実務演習Ⅰ		映像演習Ⅰ	簿記・会計Ⅰ	ソーシャルマナー
5校時	現代社会と経済		文書処理演習		照明基礎

○主要科目の特長・到達目標

主要科目	特長	到達目標
撮影基礎	デジタルビデオカメラの撮影技法の基礎を学び、テーマを決めながら撮影演習を行います。	ビデオカメラの操作から撮影技法までを習得します。意味のある映像が撮影できるようになります。
映像編集	映像編集ソフトを使ってノンリニア編集技法を学び、その編集技術を利用してショートムービーを制作します。	ビデオ編集技術を身につけます。操作技術だけでなく、編集技術も向上させます。
放送とアナウンス論Ⅰ	放送の歴史を学ぶとともに、様々なアナウンス技術の基礎から応用までを学びます。	電波媒体である放送のシステムと放送現場の概略や雰囲気などを理解することができます。また、訓練によって聞きやすい声をつくり、はきはきした話し方の習得を目指します。
映像・放送実習Ⅰ	制作プロダクション、CATV局、AM・FMラジオ局、音響・照明プロダクションの現場で見学や体験を通してプロの業務を学びます。	制作スタッフの中で自分が目指す道、取り組んでいくジャンル(スキル)を明確に定め、大学との講義と関連して理解を深めます。

②保育学科（2年コース / 3年コース）

【保育学科2年コース履修モデル】（1年前期の場合）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時	心理学概論	教育課程総論	ピアノA	運動遊び	音楽遊び
2校時	保育内容計画法Ⅰ	子どもの保健ⅠA	パソコン演習Ⅰ	日本語表現法演習Ⅰ	造形遊び
3校時	総合仏教講座 幼児教育ゼミナール	保育内容表現	保育内容環境	乳児保育Ⅰ	仏教入門
4校時	保育者論	心身の発達と学習過程Ⅰ	仏教讃歌と作法		教育実習指導Ⅰ
5校時	リトミック				ソーシャルマナー演習

【保育学科3年コース履修モデル】（1年前期の場合）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1校時	心理学概論	教育課程総論	ピアノA	休 み	音楽遊び
2校時	保育内容計画法Ⅰ	子どもの保健ⅠA	パソコン演習Ⅰ		造形遊び
3校時	総合仏教講座 幼児教育ゼミナール	保育内容表現	保育内容環境		仏教入門
4校時	保育者論	心身の発達と学習過程Ⅰ	仏教讃歌と作法		教育実習指導Ⅰ
5校時	リトミック				ソーシャルマナー演習

○主要科目の特長・到達目標

主要科目	特 長	到達目標
保育者論	子どもを保育し教育するには、よき保育者、よき教育者なしにはその目的を成就することは不可能です。日本における保育者観・教師観を概観し、専門職としての保育者のあり方について考察していきます。	保育者の役割や協同について理解することができるようになります。保育者の専門性について理解するとともに、職業としての方向性を見通すことができるようになります。
ピアノ	幼児教育を志す者にとって、子どもたちと一緒に歌い、遊びの中から学べるよう指導していくことは不可欠な内容です。ピアノの基礎技能から、幼児曲の伴奏や弾き歌いを通してピアノにおける表現力を学びます。	正しく楽譜を読み取り、ピアノを演奏する上での基礎を確立します。幼児歌曲の引き歌いができるようになります。
総合表現指導法	音楽表現と造形表現、身体表現を結ぶ総合的な活動として、オペレッタ、リトミック、人形劇、ダンスなどの主となる表現活動実践を通して、保育者として総合的な表現活動の基礎技能を学習します。その成果として、幼児教育研究発表会で作品を発表します。	保育者としての技術や資質を高めることができるようになります。グループ内で研究した内容や創作した活動を発表することができるようになります。
保育・教職実践演習（幼稚園）	2年次後期に、各学生がこれまでの学修を振り返り、不足している知識や能力を確認し、目指すべき保育者像を明確にするとともに、履修カルテを踏まえて各教科別の知識や技能の向上を目指します。	保育者としての資質の向上および保育現場における実践力の向上を目的とし、実技および現場体験を通して保育者としての即戦力を身につけます。